

令和7年度 妙典の教育

第1回学校運営協議会
令和7年5月16日(金)

❖学校経営の理念

Well-Beingな学校づくり

Well-Beingとは…

誰もが心身ともに満たされた、持続的な幸せにある状態

子ども、保護者・地域、教職員の【Well-Being】の実現

- ・子どもが、**通いたい**学校
- ・保護者・地域が、**通わせたい**学校
- ・**朝、目覚めたら行きたい**学校、**放課後、帰りたい**家庭
- ・教職員が、**働きたい**学校

❖学校教育目標

主体性を育てる
～自主・自律・共生

❖主体性とは

自分で決めて、自分で実行する力

- 自分の願いや目標を持ち **<自主>**
 自分で考え、判断、行動し **<自律>**
 多様な人々と協働しながら **<共生>**
 自らの可能性を発揮していく資質・能力

❖目指す子ども像

「自分で考えて、決める子」

自らの足で、
前に力強く一歩を踏み出せる子

❖「自分で考えて、決める子」の 3つの心

- ▲ **自主** いけいけはあと
 - 自分から進んで行動できる
 - 自分で考えたり、判断したり、工夫したりできる
 - どんなことでも、前向きに考えて行動できる
- ▲ **自律** しっかりはあと
 - 自分で決めたことは、自分で守ることができる
 - 自分の行動や心を自分でコントロールできる
 - 「あたりまえ3ヶ条」を守ることができる
 - ①時間厳守 ②整理整頓 ③挨拶励行
- ▲ **共生** あったかはあと
 - 他人の気持ちがわかる
 - 他人の人を尊敬できる
 - 他の人と協力しながら行動できる



❖目指す学校像

■ 信頼される学校

- 子どもや保護者の思いや願いに寄り添う学校
- 安全・安心で、教育環境の整った学校
- 保護者、地域と連携し地域とともに歩む学校

❖目指す教師像

■ チーム「妙典小」

- 子どもを主役にする教職員
 - ・多様性を尊重しながら、一人一人の子どもを理解し、人権意識を持って子どもを主役にできる教職員
- 協働する教職員
 - ・働き方改革を進めるとともに、それぞれのよさや専門性を生かしながら協働し、喜びや困難を共有する教職員
- 学び続ける教職員
 - ・自己を見つめ、課題意識と向上心を持ち研鑽に励む教職員

❖教職員の基本姿勢

■ 凡事徹底

ー 松下幸之助、鍵山秀三郎 ー

- ・ 当たり前を当たり前にする → **当たり前を見直す**
- ・ 簡単なこと、だれにでもできることを徹底してやる(平凡を非凡に努める)

■ 時を守り、場を清め、礼を正す

ー 森信三(教育哲学者 1892～1992) ー

- ・ 時間厳守、整理整頓、挨拶励行

❖学校教育目標の実現に向けて

■ 生徒指導の3つの機能

■ 4つの重点目標

■ 12のアクション

❖生徒指導の機能を生かした支援

■ 生徒指導の3つの機能

(1) **存在感**: 一人一人の自己存在感を大切にする。

一人一人の独自性を大切に、児童が存在感や自己肯定感を持てるようにする。

(2) **自己決定**: 自己決定の場や機会を大切にする。

児童が自分で考えて、決めて、実行できるようにする。

(3) **共感的人間関係**: 共感的な人間関係を大切にする。

児童と児童、教師と児童が、人間的なふれあい(弱さや不安の自覚)のもとで、共感的に理解し合うようにする。

❖重点目標

■ 4つの重点目標

- (1) 確かな学力
→ 主体的な学び
- (2) 豊かな心
→ 認め合う仲間
- (3) 健やかな体
→ 健康安全のセルフ・マネジメント
- (4) 信頼される学校
→ 寄り添う支援

❖アクション

■ 12のアクション

(1) 主体的な学び・探究的な学び

- ① 言語活動の充実(読書教育推進校)
・読む、書く、話す、聞く活動の工夫・充実
令和7年度子供の読書活動優秀実践校 文部科学大臣表彰
- ② ICT(タブレット)活用による個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実
- ③ ユニバーサル・デザインの視点を生かしたわかる授業づくり
・構造化 ・視覚化 ・焦点化

❖アクション

(2) 認め合う仲間・心のバリアフリー

- ④ 学級経営の充実
・自己肯定感の育成
・多様性の尊重
- ⑤ 道徳科を要とした道徳教育の充実
・「考え・議論する」学習活動
- ⑥ 豊かな体験活動
・地域交流
・異年齢交流

❖アクション

(3) 健康安全のセルフ・マネジメント

- ⑦ 自ら運動に親しむ資質・能力の育成と体力向上
・教科体育の充実
・運動の日常化
- ⑧ 健康安全教育の充実
・基本的な生活習慣
・食育
・危険回避能力

❖アクション

(4) 寄り添う支援

- ⑨ 子ども支援体制の充実・強化
(子ども支援部会、ケース会議、スマイルプラン、個別の指導計画、児童・保護者面談、児童アンケート等)
- ⑩ 保護者・地域と連携した教育活動の展開
(生活科、総合的な学習の時間、特別活動等)
- ⑪ 適時適切な情報発信と学校公開
(授業参観、懇談会、学校HP)による開かれた学校づくり
- ⑫ 学校運営協議会での教育ビジョンの共有並びに学校評価による学校経営改善の推進